

# 6月定例会概要

平成28年第2回議会定例会は、6月6日に本会議を開会し、9日間の日程で開催され、6月14日に閉会した。

議案等の内容は、繰越明許費繰越額の報告1件、専決処分の報告(損害賠償の額を定めること)2件、専決処分の承認を求めることについて3件、平成28年度各会計補正予算3件、条例の制定1件、条例の一部改正1件、それぞれ別の案件については慎重審議・討論・採決し全て可決された。

一般質問では、吉田芳春議員(落石防止の安全対策・中学校統合の方向性・今こそ地方創生への取り組み)、広田清晴議員(長浦リゾート負債の処理・中学校一校統合・定住促進・イノシン対策)、平野和生議員(次期町長選挙における町長の意向)について3人の議員が登壇し、椎木巧町長・西川敏之教育長ほか執行部に対して私たちの身近な行政や教育行政について一般質問を行った。

## 条例の改正・制定

▼町議会議員の定数を定める条例の一部改正「可決」

### 議員定数 “削減”

### 16人から14人へ

### 10月の町議選から

議員定数については、先に住民の方々から議員定数に対する要望があった。

議員定数削減ありきではなく、定数増か、現行どおりでよいなどの要望を踏まえ、多岐(人口・面積・財政状況・他町との比較など)にわたって議員間で引き続き議論を行った。

このたび、周防大島町議会の議員定数を現行「16人」を「14

人」に削減する条例の一部改正案は議員発議によって提出された。

議員定数を議会自らが決定しなければならぬことに、一人ひとりの議員は真剣に考えぬき、それ相応の覚悟を持って慎重審議し、反対討論を広田清晴議員、賛成討論を吉田芳春議員が行った。

採決の結果、賛成13人、反対1人で賛成多数で可決された。「議会が変われば、もっと住みよい住みたくなるまちになるはず」という思いで議会は今、新たな一歩を踏み出した。

今日、地方分権・地方創生という新しい時代を迎えるにあたり、議会の役割はますます重要性を増し、これまで以上に議会の力量が問われることになる。更に議員一人ひとりに高い資質が求められる。

本町の議員定数は、今後、人口の推移や社会構造などによって左右されると思われる。町民皆様方のご理解・ご指導・ご協力をお願いする。

なお、次期、周防大島町議会



周防大島町議会議場

議員一般選挙は今年の10月18日(火)に告示、10月23日(日)に投開票が予定されている。また、周防大島町長選挙も同日程で執行される予定である。

### 「議員定数の推移」

・平成16年合併前	56人
・平成16年合併当初	26人
・平成19年11月	20人
・平成24年11月	16人
・平成28年11月	14人